

専門基礎分野

[人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進]

科目名：形態機能学Ⅰ 単位数：1 時間数：30 1年前期

講師：臨床検査技師（竹田総合病院）

科目設定理由

看護の対象である人間を身体的側面から理解する。ここでは、人体の構造と機能について学習する。看護師は人間の健康の維持・増進、または疾病の回復過程の支援に携わる立場から、これらの学習は重要な基礎となる。

各器官については、その位置関係や形状、内部構造、それぞれの機能や人体における役割について理解する。

学習目標

人体を構成する組織及び人体各部の構造と機能について、機能を扱う生理学的な視点から理解する。

授業計画

| 回数 | 学習課題 | 学習内容 | 学習形態 | 備考 |
|-------------|----------|--------------------------------|----------------|----|
| 1 ・ 2 | 細胞 | 細胞 組織 器官 系統 染色体 身からだの部位等 | 講義 | |
| 3 4 | 血液 | 血漿と血球 血球のいろいろ 血球（造血） 凝固 血液型 | 講義 | |
| 5 6 7 | 消化と吸収 | 消化管 消化管 膵臓 肝臓 膵臓 肝臓 | 講義 講義 講義 | |
| 8 9 | 心臓 | 心臓の形と働き 心電図 動脈 静脈 | 講義 講義 | |
| 10 | 血管 | 全身の血管 血管樹 | 講義 | |
| 11 | 呼吸 | 呼吸器系 | 講義 | |
| 12 | 腎泌尿器 生殖器 | 泌尿器系 生殖器系 | 講義 | |
| 13 14 | 内分泌 | | 講義 講義 | |
| 15 | まとめ | 人体の構造と機能 | 講義 | |

評価方法 筆記試験

テキスト：人体の構造と機能① 解剖生理学 メディカ出版

科目名：形態機能学Ⅱ 単位数：1 時間数：30 1年前期

講師：作業療法士・理学療法士（竹田総合病院）

科目設定理由

看護の対象である人間を身体的側面から理解する。ここでは、人体の構造と機能について学習する。看護師は人間の健康の維持・増進、または疾病の回復過程の支援に携わる立場から、これらの学習は重要な基礎となる。人体を構成する組織及び人体各器官の構造と機能について、人体を支える仕組みや体を動かすしくみを解剖生理的視点から理解する科目とする。

学習目標

人体を構成する組織及び人体各部の構造と機能について、形態を扱う解剖学的な視点から理解する。

授業計画

| 回数 | 学習課題 | 学習内容 | 学習形態 | 備考 |
|------------------------|-----------|--------------------------------|--------------------|------------|
| 1 ・ 2 | 骨の構造と機能 | 1. 体を支える仕組み | 講義 | 理学・作業療法士 |
| | | 2. 骨の構造と働き | | |
| 骨の働き 骨の組成 骨の形態 骨の構造 | | | | |
| 3 | | 3. 骨組織 | 講義 | |
| | | 骨の成長 骨芽細胞 | | |
| | | 骨の形成・改変・老化 カルシウム代謝と骨の役割 | | |
| 4 | 骨格系の構造と機能 | 1. 全身の骨格 | 講義 | |
| | | 頭蓋の骨格 | | |
| | | 脊柱 椎間板 胸郭 | | |
| 5 | | 2. 全身の骨格 | 講義 | |
| | | 体肢の骨格（上肢、上肢と関節） 骨盤、下肢の骨格と関節 | | |
| 6 ・ 7 | | 関節の構造と種類 | 1. 関節の構造 軟骨 関節包 靭帯 | 講義 |
| | 2. 関節の種類 | | | |
| | 3. 関節の運動 | | | |
| | 4. 関節の変形 | | | |
| 8 | 骨格系の成長と老化 | 1. 骨格系の成長と老化 | 講義 | 8回目 50分 |
| 9 | 筋系の構造と機能 | 1. 体を動かすしくみ | 講義 | |
| | | 2. 骨の種類 骨格筋 心筋 平滑筋 | | |
| 10 ・ 11 | | 3. 筋の機能 | 講義 | |
| | | 筋の収縮機序 | | |
| | | 経筋接合部とアセチルコリンの作用 神経と活動電位の発生 | | |
| | | 筋収縮のエネルギー代謝 筋収縮の種類 | | |

| | | 等張性収縮 等尺性収縮 | | |
|----|-----------|--------------|----|-------------|
| 12 | 身体の運動と骨格筋 | 1. 手動筋と拮抗筋 | 講義 | 16回目 50分 |
| 13 | 骨格筋の構造と機能 | 1. 頭部の筋 | 講義 | |
| | | 2. 頸部、背部の筋 | | |
| 14 | | 3. 胸部の筋 横隔膜 | 講義 | |
| | | 4. 腹部の筋 | | |
| 15 | | 5. 上肢の筋 | 講義 | |
| | | 6. 下肢の筋 | | |
| 16 | 筋系の成長と老化 | 1. 筋系の成長と露逢花 | 講義 | |

評価方法 筆記試験

テキスト：人体の構造と機能① 解剖生理学 メディカ出版

科目名：生化学 単位数：1 時間数：30 1年前期

講師：(元奥羽大学教授)

科目設定理由

基礎科学・生化学は、物質の組成やその相互作用を学ぶ学問である。また看護学は、人間の疾病の看護および健康維持・増進を目的として、おもに生化学物質の物理化学的性質を人の生理作用へ活用する応用科学である。したがって、看護学を修める者にとって、基礎科学・生化学は大きな基盤となる科目の一つであり、基礎科学・生化学を固めておくことは非常に重要である。

基礎科学・生化学を生命科学の一分科としてとらえ、生命・代謝を随所に盛り込みながら講義を進めることによって、教養を高めながら専門科目に活用できる基礎化学・生化学知識の修得を図る。講義では、基礎化学・生化学に対する探究心を育みながら生命科学本来の面白さを理解することにより、専門科目を学ぶにあたっての橋渡しをする。

学習目標

看護学専門科目を生命科学の側面から学ぶために、基礎化学・生化学に関する基本法則などを理解する。

授業計画

| 回数 | 学習課題 | 学習内容 | 学習形態 | 備考 |
|----|-------------------------------|--|------|----|
| 1 | 原子の構造 | ガイダンス 原子の構造と電子配置から元素配列としての周期表について | 講義 | |
| 2 | 原子の結合 (I) | イオン結合、共有結合、水素結合とそれぞれの化合物について | 講義 | |
| 3 | 飽和・不飽和炭化水素 | 生命に必要な元素、飽和炭化水素・不飽和炭化水素化合物について | 講義 | |
| 4 | 含酸素有機化合物 | アルコール、エーテル、アルデヒドなどの含酸素有機化合物について | 講義 | |
| 5 | 含窒素有機化合物 | アミン、アミド、環式化合物などの含窒素有機化合物について | 講義 | |
| 6 | 代謝総論 生命維持に必要な栄養素の構造と性質 (I) | 代謝・物質代謝とエネルギーの関係、細胞と糖類の構造と性質について | 講義 | |
| 7 | 生命維持に必要な栄養素の構造と性質 (II) | 脂質、アミノ酸とタンパク質、核酸とヌクレオチド、ビタミンの構造と性質について | 講義 | |
| 8 | 酵素 | 酵素の役割、性質、分類、アイソザイムおよび臨床診断と酵素について | 講義 | |
| 9 | 糖質代謝 | 糖質代謝の概要、解糖のしくみ、グリコーゲンの合成と分解、ペントースリン酸回路代謝、糖新生、血糖の調節とホルモンの作用について | 講義 | |
| 10 | 脂質代謝 | 脂質代謝の役割と概要、脂質の消化・吸収と貯蔵、脂肪酸の分解、ケトン体の代謝、脂肪酸と脂肪の合成、コレステロールの代謝、リン脂質とプロスタグランジン、血中リポタンパク、脂質異常症について | 講義 | |

| | | | | |
|----|---------------|---|----|--|
| 11 | タンパク質とアミノ酸の代謝 | タンパク質・アミノ酸の役割と概要、タンパク質の消化と吸収、アミノ酸の代謝、アミノ酸のその他の使われ方、アミノ酸代謝と先天性代謝異常、ヘムの生合成とビリルビンの代謝について | 講義 | |
| 12 | 核酸・ヌクレオチドの代謝 | ヌクレオチド代謝の役割と概要、ヌクレオチドの合成・分解について | 講義 | |
| 13 | エネルギー代謝の統合と制御 | 臓器間の代謝のつながり、糖尿病について | 講義 | |
| 14 | 遺伝情報 | 遺伝情報物質、DNAの複製、DNAからRNAへの転写、RNAからタンパク質への翻訳、遺伝子の変化、遺伝子診断・遺伝子治療と看護学的課題について | 講義 | |
| 15 | 代謝と疾患まとめ | 先天性代謝異常の概念、酵素異常による発症のメカニズム、受容体の異常、その他のタンパク質の異常について | 講義 | |

評価方法 筆記試験 レポート

テキスト：ナーシンググラフィカ 人体の構造と機能② 臨床生化学 メディカ出版

科目名：臨床栄養学 単位数：1 時間数：15 1年前期

講師：管理栄養士（竹田総合病院）

科目設定理由

看護は、対象者の健康を保持・増進または回復させるために正しい栄養学の知識を持ち、対象の生活や健康状態にあった食生活の援助方法を見極める必要がある。そのため、栄養に関するアセスメントおよび健康レベルに応じた食事療法についての基礎的知識を身につける。

学習目標

1. 人間のライフステージの各段階における栄養所要量と栄養状態の判定を理解する。
2. 疾患別の食事療法について基礎的知識を身につける。

授業計画

| 回数 | 学習課題 | 学習内容 | 学習形態 | 備考 |
|----|--|---|------|----|
| 1 | オリエンテーション 人間栄養学と看護 健康づくりと食品・食 事・食生活 | 第一章：人間栄養学と看護 第十章：健康づくりと食品・食事・食生活 | 講義 | |
| 2 | 栄養素の種類と働き 栄養素の消化・吸収 栄養素の体内代謝 | 第三章：栄養素の種類と働き 第四章：エネルギー代謝 第五章：栄養素の消化・吸収 第六章：栄養素の体内代謝 | 講義 | |
| 3 | 栄養状態の評価・判定 栄養ケアマネジメン ト | 第二章：栄養状態の評価・判定 電解質アセスメント 第七章：栄養ケア・マネジメント | 講義 | |
| 4 | ライフステージと栄養 | 第八章：ライフスタイルと栄養（乳児期、 幼児期、学童期、思春期・青年期、成人 期） | 講義 | |
| 5 | | 第八章：ライフスタイルと栄養（妊娠期、 授乳期、更年期、高齢期） | 講義 | |
| 6 | 臨床栄養 | 第九章：臨床栄養 疾患に応じた食事 と指導 病院食、循環器疾患、消化器疾患、肥満・ 痩せ・PEM、腎疾患、血液疾患 | 講義 | |
| 7 | 臨床栄養 | 第九章：臨床栄養 疾患に応じた食事 と指導 食物アレルギー、骨粗しょう症、小児疾 患、妊娠高血圧症候群、 術前・術後、経腸栄養法、静脈栄養法 患者の個別性を反映した食生活の改善計 画 患者の食生活上の改善点の理解 | 講義 | |
| 8 | まとめ（50分） | | 講義 | |

評価方法 筆記試験

テキスト：人体の構造と機能（3）栄養学 医学書院

新 食品成分表 東京法令出版 食品交換表 文光堂

人体の構造と機能② 臨床生化学 メディカ出版

科目名：微生物学 単位数：1 時間数：30 1年前期 講師：臨床検査技師（竹田総合病院）

科目設定理由

地球上には無数の微生物が存在し、人間との関係において宿主-寄生関係がある。感染症のメカニズムについて理解することは、疾病予防、早期治療の支援、病状悪化の予防、回復促進に関わる看護者にとって重要である。ここでは、感染症の原因、診断、発症メカニズム、感染防御機構に関する基礎的知識を身につける。

学習目標

微生物の特徴と生体に及ぼす影響を学び、人体の安全を守るために必要な基礎的知識について理解する。

授業計画

| 回数 | 学習課題 | 学習内容 | 学習形態 | 備考 |
|----|----------------------|---|------|----|
| 1 | 身近な微生物 臨床微生物・医動物 | 細菌の名前・模式図・形態例、細菌・真菌の増殖、常在微生物、その他 | 講義 | |
| 2 | 呼吸器感染症 | インフルエンザウイルス、肺炎球菌、喀痰採取 | 講義 | |
| 3 | 結核 消化器感染症 | 結核菌、腸管出血性大腸菌、コレラ菌、腸炎ビブリオ、赤痢菌、サルモレラ菌、ヘリコバクターピロリ菌、カンピロバクター属 | 講義 | |
| 4 | 肝炎 | 肝炎ウイルス | 講義 | |
| 5 | 尿路感染症 性感染症 | 単純性・複雑性尿路感染症、HIV, トラコーマ、クラミジア、淋菌 | 講義 | |
| 6 | 皮膚・粘膜の感染症 | 麻疹ウイルス、水痘・帯状疱疹ウイルス、MRSA | 講義 | |
| 7 | 脳神経系感染症 寄生虫感染症 | クロイツフェルト・ヤコブ病、日本脳炎ウイルス、リケッチア、ツツガムシ原虫 アニサキス、マラリア原虫 | 講義 | |
| 8 | 小児の感染症 母子感染症 | タウウイルス、風疹ウイルス、ヘルペスウイルス、HTLV-1 | 講義 | |
| 9 | 高齢者の感染症 日和見感染症 | ノロウイルス、疥癬、セパシア菌、レジオネラ菌 | 講義 | |
| 10 | 手術後感染症 血管カテーテル感染症 | ウェルシュ菌、コアグラージェ陰性ブドウ球菌、カンジタアルビカンス | 講義 | |
| 11 | 薬剤耐性菌 感染症と臨床微生物 | MRSA、抗菌薬と耐性菌、抗菌薬の適正利用、アウトブレイク | 講義 | |
| 12 | 感染防御機構の基礎 | 自然免疫、獲得免疫、体性免疫、細胞性免疫、抗体の種類と特徴 | 講義 | |
| 13 | 滅菌と消毒 | 消毒薬 | 講義 | |
| 14 | 感染症の治療 | ワクチン接種、生ワクチン・不活化ワクチンの種類と特徴、混合ワクチン、ワクチンの副作用と接種時の注意 | 講義 | |
| 15 | まとめ | | 講義 | |

評価方法 筆記試験

テキスト：疾病の成り立ち③ 臨床微生物・医動物、メディカ出版

科目名：病理学 I 単位数：1 時間数：30 1年後期

講師：病理科医師（竹田綜合病院）

科目設定理由

健康障害をもつ人々への個別的な看護を展開するためには、正常な人体の構造と機能を理解するだけでなく、疾病による形態的・機能的変化について細胞レベルでの正確な知識が必要である。病理学の原因となる炎症・循環障害・腫瘍・先天異常など、器官の違いをこえて共通にみられる病理についてそれがどのようなものか、また正常な細胞・組織との違い、発生原因、先行過程で生じるさまざまな現象、診断方法・治療等について基本的な考え方を学ぶ科目とする。

学習目標

病因と病変の特徴を学び、健康障害によって人体が受ける構造と機能の変化を理解する。

授業計画

| 回数 | 学習課題 | 学習内容 | 学習形態 | 備考 |
|----|------------|------------------------|------|----|
| 1 | 病理学で学ぶこと | 病理学の役割 内因・外因 | 講義 | |
| 2 | 先天異常と遺伝子異常 | 先天異常の分類 奇形 染色体異常 | 講義 | |
| 3 | 先天異常と遺伝子異常 | 遺伝子の異常と疾患 | 講義 | |
| 4 | 代謝障害 | 脂質代謝障害 蛋白代謝障害 | 講義 | |
| 5 | 代謝障害 | 糖尿病 先天性代謝異常 | 講義 | |
| 6 | 循環障害 | 浮腫、出血、血栓症、塞栓症 | 講義 | |
| 7 | 循環障害 | 虚血、梗塞、ショック、高血圧症、DIC | 講義 | |
| 8 | 炎症 | 炎症とは、炎症の各型 | 講義 | |
| 9 | 免疫・膠原病 | 免疫と免疫不全、アレルギー | 講義 | |
| 10 | 感染症 | 感染と宿主の防御機構、主な病原体と感染症 | 講義 | |
| 11 | 腫瘍 | 腫瘍の定義と分類、悪性腫瘍広がりとの影響 | 講義 | |
| 12 | 腫瘍 | 腫瘍の発生病理、腫瘍の診断と治療 | 講義 | |
| 13 | 老化と死 病理検査 | 老化、加齢に伴う諸臓器の変化、死と終末期医療 | 講義 | |
| 14 | 循環器系の疾患 | 高血圧症 | 講義 | |
| 15 | 循環器系の疾患 | 播種性血管内凝固症候群 | 講義 | |

評価方法 筆記試験

テキスト：疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学 医学書院

科目名：病理学Ⅱ 単位数：1 時間数：30 2年生前期

講師：病理科医師（竹田総合病院）

科目設定理由

健康障害をもつ人々への個別的な看護を展開するためには、正常な人体の構造と機能を理解するだけでなく、疾病による形態的・機能的変化について細胞レベルでの正常な知識が必要である。ここでは、病理学Ⅰの学習を踏まえ、各器官の主要な疾病の病因と成因また、それに伴う病状等について学ぶ科目とする。

学習目標

臓器別に特徴的な疾患の病変と成因を理解する。

授業計画

| 回数 | 学習課題 | 学習内容 | 学習形態 | 備考 |
|----|------------|----------------------|------|--------|
| 1 | 循環器 1 | 心房中隔欠損症、心不全 | 講義 | |
| 2 | 循環器 2 血液 1 | 狭心症、心筋梗塞、弁膜症 | 講義 | |
| 3 | 血液 2 呼吸器 1 | 肺癌 肺炎 | 講義 | |
| 4 | 呼吸器 2 | 肺気腫、気管支拡張症 | 講義 | |
| 5 | 消化器 1 | 食道・胃癌、胃潰瘍 | 講義 | |
| 6 | 消化器 2 | 腸閉塞、大腸癌、腹膜炎 | 講義 | |
| 7 | 消化器 3 | 肝癌、肝炎、胆嚢炎・胆石症、膵炎・膵臓癌 | 講義 | |
| 8 | 腎泌尿器 | 腎不全、腎腫瘍、尿管結石 | 講義 | |
| 9 | 生殖器 | 子宮癌、前立腺癌、乳癌 | 講義 | |
| 10 | 内分泌 | バセドウ病、クレチン症、クッシング症候群 | 講義 | |
| 11 | 解剖見学（事前学習） | | | 教員 |
| 12 | 解剖見学 | | | 6時間 教員 |
| 13 | まとめ | | 講義 | 教員 |

評価方法 筆記試験 レポート

※解剖見学 評価基準

| | 課題 | 配点 | 評価基準 |
|---|------|-----|---|
| 1 | 事前課題 | 20点 | 1. 課題5横目の内容が整理されている 2. 自己の課題が記述できている |
| 2 | 最終課題 | 10点 | 1. 自己の課題に沿った振り返りが記述できている 2. 看護者が解剖見学をする意義について記述できている |

テキスト：疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学 医学書院

科目名：病態学Ⅰ 単位数：1 時間数：30 1年前期・後期

科目設定理由

看護は人間の健康レベルに焦点を当て働きかけをしている。そのため、人間が機能障害に陥った状態について理解しておく必要がある。各疾病の成り立ち、治療・回復過程、回復に必要な因子を理解する必要がある。正しい情報を受け止める能力や治療法の効果を判断する能力、回復を阻害する要因を取り除く能力を身につけてほしい。

ここでは、糖尿病・脂質異常症・関節リウマチなどの主な代謝性疾患と甲状腺機能亢進症・下垂体腫瘍などの主な内分泌疾患のある患者の看護を行うにあたり必要な基礎知識として、その原因・機序・検査・主要な症状・診断及び治療を学ぶ科目とする。

学習目標

1. 代謝異常の疾患の病態生理及び治療法を理解する。
2. 自己免疫疾患の病態生理及び治療法を理解する。
3. 内分泌系の疾患の病態生理・治療方法を理解する。

授業計画

| 主な疾患の病態生理の理解 | 主な検査 | 主な治療 | 時間 | 講師 |
|--|--|---|----|------------------|
| メタボリックシンドローム、肥満症 糖尿病 脂質異常症 高尿酸血症、痛風 ビタミン欠乏症 全身性エリテマトーデス（SLE） 関節リウマチ シューグレン症候群 ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症 | 糖負荷試験（OGTT） 血糖事故測定（SMBG） | 運動療法 食事療法 インスリン補充療法 糖尿病経口薬 下肢切断 免疫抑制剤 ステロイド療法 抗ヒト免疫不全ウイルス（HIV）療法 | 15 | 医師 （竹田総合病院内科） |
| 間脳・下垂体疾患 甲状腺疾患（甲状腺機能亢進症・低下症、甲状腺炎） 副甲状腺（上皮小体）疾患 副腎皮質・髄質疾患 腫瘍（下垂体腫瘍、甲状腺癌） 性腺疾患（機能亢進症・低下症） | 甲状腺機能検査 免疫学的評価 ホルモン血中・尿中濃度測定 ホルモン負荷試験 超音波検査 CT MRI | 薬物療法 手術療法 | 15 | 医師 （東北大学病院） |

評価方法

筆記試験

テキスト：成人看護学[6] 内分泌、代謝 医学書院
 成人看護学[11] アレルギー・膠原病・感染症、医学書院

科目名：病態学Ⅱ 単位数：1 時間数：30 1年後期

科目設定理由

看護は人間の健康レベルに焦点を当て働きかけをしている。そのため、人間が機能障害に陥った状態について理解しておく必要がある。各疾病の成り立ち、治療・回復過程、回復に必要な因子を理解する必要がある。正しい情報を受け止める能力や治療法の効果を判断する能力、回復を阻害する要因を取り除く能力を身につけてほしい。

ここでは、食道癌・胃十二指腸潰瘍・肝硬変等の主な消化器疾患と大腿骨骨折・変形性膝関節症・椎間板ヘルニア等の主な骨筋系疾患のある患者の看護を行なうにあたり必要な基礎的知識として、その病因・機序・検査・主要な症状・診断及び治療を学ぶ科目とする。

学習目標

1. 消化器系疾患の病態生理及び治療方法を理解する。
2. 運動系疾患の病態生理及び治療方法を理解する。

授業計画

| 主な疾患の病態生理の理解 | 主な検査 | 主な治療 | 時間 | 講師 |
|--|--|--|----|------------------|
| 逆流性食道炎 食道癌 食道アカラジア 食道裂肛ヘルニア 胃炎 ヘリコバクターピロリ感染症 胃・十二指腸潰瘍 胃癌 脂肪肝 肝炎 肝硬変 肝癌 胆石症 胆嚢炎 胆管炎 胆嚢癌 胆管癌 急性膵炎 膵癌 急性腹膜炎 潰瘍性大腸炎 クローン病 大腸ポリープ 虫垂炎 結腸癌 痔瘻 鼠経ヘルニア 横隔膜ヘルニア | 血液検査 内視鏡検査 内視鏡的逆行性胆管膵管造影 (ERCP) 肝生検 直腸診 超音波検査 | 安静療法 食事療法 薬物療法 経皮経管胆道ドレナージ (PTCD) 経皮経管胆嚢ドレナージ (PTGBD) 内視鏡的経鼻肝胆道ドレナージ (ENBD) 内視鏡的逆行性胆道ドレナージ (ERBD) S Bチューブ 食道静脈瘤硬化療法 肝動脈塞栓療法 (TAE) インターフェロン療法 手術療法 | 15 | 医師 (竹田総合病院外科) |

| | | | | |
|--|--|---|-----------|-----------------------------------|
| <p>骨・筋系の形態・機能 中枢神経、末梢神経 脊髓の構造 捻挫 上腕骨頸上骨折 大腿骨頸部骨折 骨盤骨折 末梢神経麻痺（橈骨・尺骨・正中・坐骨・腓骨神経麻痺） 骨粗鬆症 変形性膝関節症 変形性股関節症 腰痛症（椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症） 骨腫瘍（骨肉腫） 関節炎 骨髄炎 椎間板ヘルニア 脊髓損傷 半月板損傷 先天性股関節脱臼 ロコモティブシンドローム サルコペニア</p> | <p>各種造影検査 R I 検査 骨密度 関節鏡 筋電図</p> | <p>ギブス包帯法 牽引法 高位脛骨骨切り術 人工膝関節置換術 寛骨臼回転骨切り術 大腿骨外（内）骨切り術 人工股関節置換術 観血的整復固定術 開窓術 椎弓切除術 脊椎固定術</p> | <p>15</p> | <p>医師 （竹田綜合病院 整形外科）</p> |
|--|--|---|-----------|-----------------------------------|

評価方法 筆記試験

テキスト：成人看護学[5] 消化器、医学書院 成人看護学[10] 運動器 医学書院

科目名：病態学Ⅲ 単位数：1 時間数：30 1年後期

科目設定理由

看護は人間の健康レベルに焦点を当て働きかけをしている。そのため、人間が機能障害に陥った状態について理解しておく必要がある。各疾病の成り立ち、治療・回復過程、回復に必要な因子を理解する必要がある。正しい情報を受け止める能力や治療法の効果を判断する能力、回復を阻害する要因を取り除く能力を身につけてほしい。

ここでは、狭心症・心筋梗塞・不整脈・心不全等の主な循環器疾患と気胸・肺炎・気管支喘息・肺癌等の主な呼吸器疾患のある患者の看護を行うに当たり必要な基礎的知識として、その原因・機序・検査・主要な症状・診断及び治療を学ぶ科目とする。

学習目標

1. 循環器系疾患の病態生理及び治療方法を理解する。
2. 呼吸器系疾患の病態生理及び治療方法を理解する。
- 3.

授業計画

| 主な疾患の病態生理の理解 | 主な検査 | 主な治療 | 時間 | 講師 |
|---|--|---|----|--------------------|
| 虚血性心疾患（狭心症、急性冠症候群） 心筋症（肥大性心筋症、拡張性心筋症） 心不全（急性心不全、慢性心不全） 心タンポナーデ 炎症性疾患（感染性心内膜炎、心筋炎、収縮性心膜炎） 弁膜症（大動脈弁疾患、僧帽弁疾患） 不整脈（上室性頻脈性不整脈、心室性頻脈性不整脈、徐脈性不整脈） 大動脈瘤、大動脈解離 閉塞性動脈硬化症 挫滅症候群 下肢静脈瘤、深部静脈血栓症 動脈硬化症 高血圧（本態性、二次性） 起立性低血圧 ショック | 心臓カテーテル法 心電図 胸部X線検査 心血管超音波 血管造影 心臓核医学検査 血行動態モニタリング | 経皮的冠動脈形成術（PCI） 冠動脈バイパス術（CABG） 弁置換術・弁形成術 大動脈内バルーンポンピング（IABP） ペースメーカー 植込み型除細動器 血栓溶解療法・血栓除去術 | 15 | 医師 （竹田総合病院循環器科） |
| 気胸 腫瘍（肺がん、中皮腫） 炎症性疾患（気管支炎、肺炎、間質性肺炎、胸膜炎） 気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患（COPD） 肺循環障害（肺高血圧症、肺塞栓症） 肺結核 | 気管支鏡検査 呼吸機能検査 動脈血液ガス分析 胸腔穿刺 肺生検 | 胸腔ドレナージ 肺切除術 酸素療法 非侵襲的・侵襲的陽圧換気 化学療法 放射線療法 薬物療法 吸入による薬物療法 | 15 | 医師 （竹田総合病院） |

評価方法

筆記試験

テキスト

： 成人看護学[3] 循環器、医学書院

成人看護学[2] 呼吸器 医学書院

科目名：病態学Ⅳ 単位数：1 時間数：30 2年前期

科目設定理由

看護は人間の健康レベルに焦点を当て働きかけをしている。そのため、人間が機能障害に陥った状態について理解しておく必要がある。各疾病の成り立ち、治療・回復過程、回復に必要な因子を理解する必要がある。正しい情報を受け止める能力や治療法の効果を判断する能力、回復を阻害する要因を取り除く能力を身につけてほしい。ここでは脳梗塞・脳出血・パーキンソン病・筋ジストロフィー症などの主な脳神経系と各種貧血・白血病・悪性リンパ腫などの主な血液疾患のある患者の看護を行うに当たり必要な基礎的知識として、その原因・機序・検査・主要な症状・診断及び治療を学ぶ内容とする

学習目標

1. 神経系疾患の病態生理及び治療方法を理解する。
2. 血液・造血器系疾患の病態生理及び治療方法を理解する。

授業計画

| 主な疾患の病態生理の理解 | 主な検査 | 主な治療 | 時間 | 講師 |
|---|--|--|----|---------------------|
| 脳動脈破裂 頭部外傷 腫瘍（脳腫瘍） 脳血管障害（クモ膜下出血、脳内出血、脳梗塞、もやもや病） 頭蓋内圧亢進症 | 神経学的検査 脳波検査 筋電図検査 脳血管撮影 脳脊髄液検査 | 開頭術 穿頭術 血管バイパス術 血管内治療 脳室ドレナージ 脳室－腹腔（V-P） シャント | 7 | 医師 （竹田総合病院脳神経外科） |
| 変性疾患（パーキンソン病、筋委縮性側索硬化症 ALS） 脱髄疾患（多発性硬化症） 認知症（アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体認知症） 感染症（脳炎、髄膜炎） 機能性疾患（てんかん） ギランバレー症候群 圧迫性神経障害 顔面神経麻痺 自律神経失調症 筋ジストロフィー 重症筋無力症 | CT MRI、MRA SPECT、PET 脳槽シンチグラフィ ー 頸動脈超音波検査 誘発電位 | 薬物療法 頭蓋内圧降下療法 抗凝固療法 rt-PA治療 ステロイドパルス療法 血漿交換療法 低体温療法 放射線療法 | 8 | 医師 （竹田総合病院脳神経内科） |

| | | | | |
|---|-----------------------------|--|-----------|--------------------------|
| <p>貧血（鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、脊髄異形成性症候群、再生不良性貧血、二次性貧血） 白血球減少症 腫瘍（白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫） 出血性疾患（血栓性血小板減少性紫斑病 T T P、免疫性血小板減少性紫斑病 I T P、播種性血管内凝固D I C）</p> | <p>骨髄穿刺・骨髄生検 リンパ節生検</p> | <p>化学療法 造血幹細胞移植 分化誘導療法 分子標的療法 支持療法</p> | <p>15</p> | <p>医師 （竹田綜合病院内科）</p> |
|---|-----------------------------|--|-----------|--------------------------|

評価方法 筆記試験

テキスト：成人看護学[7] 脳・神経、医学書院
成人看護学[4] 血液・造血器、医学書院

科目名：病態学Ⅴ 単位数：1 時間数：30 2年前期

科目設定理由

看護は人間の健康レベルに焦点を当て働きかけをしている。そのため、人間が機能障害に陥った状態について理解しておく必要がある。各疾病の成り立ち、治療・回復過程、回復に必要な因子を理解する必要がある。正しい情報を受け止める能力や治療法の効果を判断する能力、回復を阻害する要因を取り除く能力を身につけてほしい。

ここではネフローゼ症候群・腎炎・腎不全・尿路結石・前立腺肥大症・膀胱腫瘍などの主な腎泌尿器疾患と性染色体異常・子宮筋腫・子宮癌・性感染症などの女性生殖器疾患のある患者の看護を行うに当たり必要な基礎的知識として、その原因・機序・検査・主要な症状・診断及び治療を学ぶ科目とする。

学習目標

1. 腎泌尿器系疾患の病態生理及び治療方法を理解する。
2. 女性生殖器系疾患の病態生理及び治療方法を理解する。

授業計画

| 主な疾患の病態生理の理解 | 主な検査 | 主な治療 | 時間 | 講師 |
|---|---|--|----|----------------|
| 水・電解質の異常 (脱水、浮腫、低ナトリウム血症、高カリウム血症) 腎不全 ネフローゼ症候群 I g A腎症 急性糸球体腎炎 腎盂腎炎 腎炎 慢性腎臓病 尿路の炎症 腎腫瘍 尿路の通過障害 排尿障害(過活化膀胱、腹圧性尿失禁、夜尿症) 尿管癌 尿路結石 前立腺炎 前立腺肥大症 前立腺癌 膀胱癌 精巣腫瘍 男性性機能障害 | 血管造影検査 点滴静脈腎盂造影 経静脈性腎盂造影 逆行性腎盂造影 腎生検 腎流動体検査 膀胱生検 膀胱協 | 食事療法 薬物療法 透析療法 腎移植 手術療法 放射線療法 化学療法 | 8 | 医師(竹田総合病院) |
| 性分化疾患(性染色体異常・性分化異常) 生殖機能障害(月経異常、不妊症、更年期障害) 女性生殖器の疾患(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫、卵管炎) 腫瘍(子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌、卵巣の良性腫瘍) 胞状奇胎 性感染症(尖圭コンジローマ、膣トリコモナス感染症、クラミジア感染症、梅毒、淋病、H I V感染症) 乳腺炎、乳腺症 | 染色体検査 内視鏡検査 ダグラス窩穿刺細胞診 コルポスコピー 経膈超音波検査 | ホルモン療法 化学療法 人工授精法 手術療法 | 15 | 医師(竹田総合病院産婦人科) |
| | | | 6 | 医師(竹田総合病院) |

評価方法 筆記試験

テキスト：成人看護学[8] 腎・泌尿器 医学書院 人看護学[9] 女性生殖器 医学書院

科目名：病態学VI 単位数：1 時間数：30 2年後期

科目設定理由

看護は人間の健康レベルに焦点を当て働きかけをしている。そのため、人間が機能障害に陥った状態について理解しておく必要がある。各疾病の成り立ち、治療・回復過程、回復に必要な因子を理解する必要がある。正しい情報を受け止める能力や治療法の効果を判断する能力、回復を阻害する要因を取り除く能力を身につけてほしい。

ここではメニエール病・喉頭癌などの主な耳鼻科疾患と視力異常・白内障・網膜症などの主な眼疾患、また皮膚炎・熱傷などの主な皮膚疾患、齶蝕・歯周病などの主な歯疾患のある患者の看護を行うに当たり必要な基礎的知識として、その原因・機序・検査・主要な症状・診断及び治療を学ぶ科目とする。

学習目標

感覚器系疾患の病態生理及び治療方法を理解する。

授業計画

| 主な疾患の病態生理の理解 | 主な検査 | 主な治療 | 時間 | 講師 |
|--|---|--|----|---------------------|
| メニエール病 突発性難聴 慢性副鼻腔炎 喉頭炎 嚥下障害 反回神経マヒ | 中耳炎 鼻アレルギー 扁桃炎 舌癌 顔面神経マヒ 嗅覚・味覚障害 | 聴力検査 気道聴力検査・骨導聴力検査 平衡感覚検査 眼振検査 偏倚検査・立ち直り検査 基準嗅覚検査・静脈性嗅覚検査 電気味覚検査・濾紙ディスク 味覚検査 | 9 | 医師 (竹田総合病院耳鼻咽喉科) |
| 白内障 緑内障 網膜はく離 網膜症 眼底出血 結膜炎 屈折、調節の異常(近視、遠視、乱視、老視) | 視力検査 眼底検査 | 薬物療法 光凝固療法 手術療法 眼内レンズ挿入術 ロービジョンケア | 6 | 医師 (市内医院眼科) |
| アトピー性皮膚炎 尋常性乾癬 蜂窩織炎 帯状疱疹 湿疹 疥癬 熱傷 | 貼付検査 搔把試験 病理検査 | 薬物療法 | 9 | 医師 (竹田総合病院皮膚科) |
| う蝕 辺縁性歯周病 顎関節症 | X線検査 | 修復処置(充填) 歯内治療 抜歯 | 6 | 医師 (竹田総合病院歯科) |

評価方法 筆記試験

テキスト：成人看護学[14] 耳鼻咽喉、医学書院
成人看護学[12] 皮膚、医学書院

成人看護学[13] 眼、医学書院
成人看護学[15] 歯・口腔、医学書院

科目名：病態学Ⅶ 単位数：1 時間数：30 1年後期

科目設定理由

看護は人間の健康レベルに焦点を当て働きかけをしている。そのため、人間が機能障害に陥った状態について理解しておく必要がある。各疾病の成り立ち、治療・回復過程、回復に必要な因子を理解する必要がある。正しい情報を受け止める能力や治療法の効果を判断する能力、回復を阻害する要因を取り除く能力を身につけてほしい。

ここでは麻酔法・呼吸管理・循環管理・栄養管理・術後合併症の予防など、外科的治療を受ける患者の看護を行うにあたり必要な基礎的知識を学ぶ科目とする。また放射線の作用や、放射線療法を受ける患者の看護を行うにあたり必要な基礎的知識を学ぶ科目とする。また関節可動域訓練・廃用性症候群予防の為に自動運動など?リハビリテーションの基礎的知識を学ぶ科目とする。

学習目標

1. 手術療法に関連した基礎知識を理解する。
2. 放射線療法に関連した基礎知識を理解する。
3. リハビリテーションに関連した基礎知識を理解する。

授業計画

| 学習内容 | 備考 | 時間 | 講師名 |
|--|--------------------------------|----|-------------------------------------|
| 手術侵襲に対する生体反応 (ムーアの分類：異化期、転換期、同化期、脂肪蓄積期) 麻酔法(全身麻酔、局所麻酔：脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔) 呼吸管理 体液管理 栄養管理 輸血療法 疼痛管理 術後合併症等(呼吸器合併症・血栓塞栓療法・イレウス・せん妄) 9 消化器疾患の手術療法(腹腔鏡下手術、人工肛門造設術) 乳癌 | | 15 | 医師 (竹田総合病院外科) |
| 放射線療法とは 放射線の作用 放射線療法の種類と適応 放射線が身体に及ぼす影響 主な画像所見 頭部 ・脳梗塞 ・脳出血 ・くも膜下出血 ・硬膜外血種胸腹部 ・肺結核症(空洞病変) ・腸閉塞(鏡画像) ・潰瘍性大腸炎(鉛管像) ・大腸癌(リングの芯画像) ・フォロー四徴症(木靴心) | X線検査 CT検査 MRI検査 核医学検査 | 5 | 医師 (竹田総合病院放射線科) |
| リハビリテーションの定義 国際生活機能分類(ICF) リハビリテーションの場と方法 リハビリテーションの実際 廃用性症候群予防のための呼吸機能を高める援助 廃用性症候群予防のための自動・他動運動 関節可動域訓練 杖歩行の援助 嚥下訓練 | | 10 | (竹田総合病院) 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 |

評価方法 筆記試験

テキスト：手術療法 臨床外科看護総論／各論 医学書院

放射線療法 臨床放射線医学、医学書院

リハビリ 実践 リハビリマスターガイド 中外医学社

科目名：薬理学Ⅰ 単位数：1 時間数：15 1年後期

講師：薬剤師（竹田総合病院）

科目設定理由

看護者は対象者の健康の回復・保持増進の過程において、病態とその治療方法を理解し治療に伴う生体の反応を捉え、順調な回復過程をたどることができるように援助する必要がある。さらに薬理学から得た知識を看護の実際に活かし、対象者が安全・安楽に生活できるように支援していかなければならない。ここでは薬物療法の目的、薬物の分布・代謝・排泄、また薬剤関係法規など薬理学の基礎的知識を学ぶ科目とする。

学習目標

薬物の特徴・作用機序・生体への影響および薬物の管理について理解する。

授業計画

| 回数 | 学習課題 | 学習内容 | 学習形態 | 備考 |
|--------|------------|----------------------------------|------|----|
| 1 | 薬理学とは何か | 薬物とは何か 薬物療法の目的 薬物受容体について | 講義 | |
| 2 | 薬理作用の分類 | 薬物血中濃度 薬物作用機序 | 講義 | |
| 3 | 薬の投与経路 | 薬の吸収 演習問題 | 講義 | |
| 4 | 薬の分布・代謝・排泄 | 生物学的半減期 T1/2 血中濃度モニタリング (TDM) | 講義 | |
| 5 | 前回の項目の演習問題 | 薬効に影響する因子 | 講義 | |
| 6 | 前回の項目の演習 | 薬物中毒はなぜおこるのか 薬剤関係法規について | 講義 | |
| 7 8 | 演習 | 看護業務に必要な薬品の計算 | 講義 | |

評価方法 筆記試験

テキスト : 病のなりたちと回復の促進 [3] 薬理学 医学書院

科目名：薬理学Ⅱ 単位数：1 時間数：30 2年前期

講師：薬剤師（竹田総合病院）

科目設定理由

看護者は対象者の健康の回復・保持増進の過程において、病態とその治療方法を理解し治療に伴う生体の反応を捉え、順調な回復過程をたどることができるように援助する必要がある。ここでは薬理学Ⅰで得た基礎的知識をもとに抗感染症薬、抗がん剤、抗炎症薬、ホルモン製剤、抗精神病薬、外用薬など各疾患や主な症状の治療薬について詳しく学ぶ科目とする。

学習目標

各疾患および主な症状の治療薬の作用機序、副作用、使用上の留意点について理解する。

授業計画

| 回数 | 学習課題 | 学習内容 | 学習形態 | 備考 |
|----|-------------------|--|------|----|
| 1 | 抗感染症薬の種類と作用機序 | 各々の特徴的な副作用や注意 | 講義 | |
| 2 | 抗がん剤の種類と作用のちがい | がん化学療法における副作用とその対策 講義 | 講義 | |
| 3 | 免疫反応のしくみ | 免疫に関わる薬（増強薬、抑制薬）の作用 | 講義 | |
| 4 | アレルギー反応の種類と抗アレルギー | 抗炎症薬の作用 抗リウマチ薬、痛風治療薬の作用 | 講義 | |
| 5 | 交感神経、副交感神経の働き | 各々の作動薬、遮断薬の作用機序、応用 筋弛緩薬、局所麻酔薬の作用機序、種類 | 講義 | |
| 6 | 中枢神経系薬剤の作用機序 | 特徴、有害作用など 麻酔薬（吸入・ 静脈注射） 催眠薬（ベンゾジアゼピン系、バルビツ ール系）抗精神病薬 抗うつ薬 抗不安薬（ベンゾジアゼピン系） | 講義 | |
| 7 | 中枢性鎮痛薬 | 麻薬、非麻薬の作用機序、効果、副作用 抗パーキンソン病、抗てんかん治療薬 がん疼痛コントロール | 講義 | |
| 8 | 心臓・血管系に作用する薬 | ①降圧剤の種類、作用、副作用など ② 狭心症治療薬の種類、作用 ③心不全 の治療薬、作用、治療の進め方 ④抗 不静脈薬の分類 ⑤利尿薬の種類と作 用 | 講義 | |
| 9 | 高脂血症治療薬 | 血液凝固系に作用する薬 消化器系、呼吸器系、泌尿器系・生殖器 系に作用する薬物 | 講義 | |
| 10 | 物質代謝に作用する薬物 | 糖尿病 骨粗鬆症 甲状腺機能障害に用いる薬 ホルモン製剤（下垂体）、ビタミン剤 | 講義 | |
| 11 | 皮膚外用薬・眼科用薬 | 種類、作用注意点 章末問題解答 | 講義 | |
| 12 | 救急処置に用いる薬剤 | 症状別に分類 中毒時の処置 解毒薬と原因物質 | 講義 | |
| 13 | 漢方薬 | 西洋薬との違い 代表的な副作用 証よく用いられる生薬 章末問題解説（1章～3章） | 講義 | |
| 14 | 消毒薬 | 消毒薬の分類と各成分 使用目的の違 い章末問題解説（4章～5章） | 講義 | |
| 15 | 総合演習 | | 講義 | |

評価方法 筆記試験

テキスト： 疾病のなりたちと回復の促進 [2] 薬理学 医学書院

〔 健康支援と社会保障制度 〕

科目名：癒しと健康 単位数：1 時間数：30

講師：ピアノ教室主宰（1～13） 住職（14、15）

科目設定理由

現代社会は、家庭、学校、会社、地域それぞれの場でストレス要因が大きい。ストレスによる不安や興奮は心身の健康にマイナスに影響する。自分自身を始め人々のより健康な生活を追及するために、心の安らぎが得られる方法を身につける。

学習目標

（心身）の健康を高めるための心の安らぎが得られる方法を身につける。

授業計画

| 回数 | 学習課題 | 学習内容 | 学習形態 | 備考 |
|--------------|----------|--------------------------------|------|----|
| 1 5 13 | 音楽療法 1 | 意義と必要性、リドミックを取り入れた歌唱法と表現 | 演習 | |
| | | 癒されたこと（経験談他）、リドミックを取り入れた歌唱法と表現 | 演習 | |
| | アンサンブル | 子供向けのミュージカル作成 | 演習 | |
| | | 楽しいヴォイス・アンサンブル | 演習 | |
| | | 楽しいヴォイス・アンサンブル | 演習 | |
| | 音楽療法 2 | 課題曲の練習 | 演習 | |
| | | 音楽療法の取り入れ方と看護師としての心構え | 演習 | |
| | | 課題曲発表 | 演習 | |
| | 14 15 | 禅 | 禅と健康 | 演習 |

評価方法 音楽療法のみ実技試験

科目名：家族社会学

単位数：1

時間数：15

1年後期

講師：(会津大学名誉教授)

科目設定理由

人間を理解するためには、人間生活の基盤となる家族および家族の人間関係を把握することが必要である。少子高齢化、核家族化がすすみ、家族のあり方、形態・機能の両面において多様化している。

また在宅において看護を必要とする場合も増え、家族が看護に求めるものも様々となっている。家族を的確に捉え、家族がもつ役割・機能を発揮できるように支援する関わりが必要である。そこで看護ケアの実践に役立てるために、家族および家族の人間関係、家族の役割・機能を社会的視点から理解するための科目とする。

学習目標

看護の対象者の生活の基盤となる家族の人間関係、役割・機能を社会的視点から理解する。

授業計画

| 回数 | 学習課題 | 学習内容 | 学習形態 | 備考 |
|----|--------------------|---------------------------------|------|----|
| 1 | 授業の進め方 | 第1章 家族とは 基本概念 類型 変貌 | 講義 | |
| 2 | 夫と妻のパートナーシップ | 第2章 配偶者選択 親密性 役割 葛藤 | 講義 | |
| 3 | 親と子と孫の絆 (親子関係論) | 第3章 ペアレンティング 母性論 父性論 祖父母 | 講義 | |
| 4 | 家族と社会 | 第4章 家族の生活文化 地域と家族 職場と家族 高齢少子 | 講義 | |
| 5 | 患者家族と在宅ケア | 第5章 患者家族と在宅ケア (ビデオ) | 講義 | |
| 6 | 家族関係論—心理社会的負担 | 第6章 (1) 家族関係論—心理社会的負担 (ビデオ) | 講義 | |
| 7 | 向精神剤と若者 | 第6章 (2) 向精神剤と若者 (ビデオ) | 講義 | |
| 8 | 地域看護を考える | 家族看護、地域看護を考える 医師・看護師不足 (ビデオ) | 講義 | |

評価方法 レポート、学習態度

テキスト： 家族看護学 医学書院

科目名：公衆衛生学 単位数：1 時間数：15 2 年前期

講師：(元奥羽大学教授)

科目設定理由

生命現象は巨視的（マクロ）レベルから微視的（ミクロ）レベル、すなわち地球（生態系）、集団、個体、臓器、組織、細胞、細胞内構造、分子、遺伝子レベルにその領域が及ぶ。公衆衛生学は、人間の生命現象を集団レベルで考究する科学で社会医学に分類される。公衆衛生学では、主に健康者集団を対象にして、疾病へ移行させる原因を探索する。いいかえればその原因を回避することが、疾病予防という実践活動につながる。一方、人間の生命現象は、個人（宿主）が環境に適応し、その恒常性を維持することによって成立する。疾病の原因を宿主・環境関係の立場から解明するには多要因原因説が前提であり、その環境要因の領域に社会的・文化的環境要因も含まれることから、学際的展開が必須の科目である。

学習目標

人間集団の生命現象と社会制度や環境との関係を学ぶため、疫学・保健医療統計および保健・医療・福祉に関連する社会制度と社会環境に関する基本法則などを理解する。

授業計画

| 回数 | 学習課題 | 学習内容 | 学習形態 | 備考 |
|----|----------------------------------|--|------|----|
| 1 | 総論（歴史・システムと政策） | 公衆衛生の歴史、現在の公衆衛生システムと政策およびこれからの公衆衛生について | 講義 | |
| 2 | 方法論（疫学と保健統計） | 公衆衛生のものさしとしての疫学と統計調査の実施と情報処理について | 講義 | |
| 3 | 各論1（子ども・女性・高齢者・成人） | 地域母子保健対策・高齢者を支えるシステムと制度・成人（生活習慣病）について | 講義 | |
| 4 | 各論2（歯科保健・精神・難病） | 歯科疾患の主なものとその特徴・精神保健福祉・難病対策について | 講義 | |
| 5 | 各論3（感染症・学校保健・産業保健） | 感染症の現状と対策・学校保健の概要・産業保健の概要について | 講義 | |
| 6 | 各論4（環境保健総論・食品保健・大気環境中の有害物質と健康影響） | 環境保健の総論・食品保健・大気環境中の有害物質と健康影響について | 講義 | |
| 7 | 各論5（廃棄物・地球環境の問題・水道・居住環境） | 廃棄物・地球環境の問題・水道・居住環境について まとめ | 講義 | |
| 8 | まとめ | (50分) | 講義 | |

学習方法

教科書を主体に、適宜に液晶プロジェクターなどの視覚素材を活用して講義する。

評価方法・基準

重要項目をレポートで課し、理解力に対する形成評価を行う。授業終了時には、全単元を範囲とする筆記試験を行って総括評価を行う。習熟度は講義に集中することで育成されることから、出席状況についても評価に加味する。

テキスト：健康支援と社会保障制度② 公衆衛生 メディカ出版

科目名：社会福祉 単位数：1 時間数：30

科目設定理由

社会福祉は、社会において生み出される生活問題に対して、国民の生存権を保障するための社会的な施策および活動として存在している。医療の高度化に伴い、疾病を抱えながら生活している人が増加し、人々の生活問題として医療の関わりも大きくなっている。そこで、社会福祉と医療及び看護の連携の必要性が強調され、多くの意欲的な試みがなされている。

看護者にとっては、その内容を理解し、生活を支援する基盤となる科目とする。

学習目標

社会福祉の発達、社会保障制度および社会福祉サービスと方法を理解し、その活用について学ぶ。

授業計画

| 回数 | 学習課題 | 学習内容 | 学習形態 | 講師 |
|----|------------------|--|------|---------------|
| 1 | 現代社会と社会福祉・社会保障 | 社会福祉の理念の変遷（歴史） 社会保障の考え方（ネットワーク型 ヨコ社会、福祉コミュニティを中心に） | 講義 | （会津大学短期大学部講師） |
| 2 | 社会保障 | 定義・目的・予算・諸外国の社会保障 財源 福祉の担い手について（国家資格の職種） | 講義 | |
| 3 | 社会福祉実践方法と社会資源の活用 | 実践の目的 方法体系の詳細 社会資源とは何か コーディネートの意義 個人情報の取り扱い | 講義 | |
| 4 | ライフサイクルと家庭と福祉 | 子ども・家庭福祉の理念・施策 子育て支援の施策・背景 児童虐待の現状・施策 | 講義 | |
| 5 | ライフサイクルと社会福祉 | 障害者福祉 障害者福祉の理念 支援費制度と障害者自立支援事業を含めた措置制度からの転換 | 講義 | |
| 6 | 高齢者と福祉 | 介護保険制度が施行されるまでの高齢者 施策 介護保険制度の基本理念と実際の活用 | 講義 | |
| 7 | 地域福祉 | 理念の定義 地域社会とは何か 地域福祉の推進と実施体制 地域福祉計画の目的・プロセス 権利擁護と成年後見制度から地域福祉を 考える | 講義 | |
| 8 | まとめ | 1～7 | 講義 | |
| 9 | 生活保護 | 生活保護の基準の考え方（憲法 25 条を元 に考える） 8 種類の扶助と種類 演習 「費用負担区分・最低生活費の 計算方法 義務と権利」 | 講義 | |
| 10 | 年金制度 | 公的年金制度の意義・体系 | 講義 | |

| | | | | |
|----|-----------|---|----|-------------------|
| | | 種類（老齢年金・障害年金・遺族年金） を理解する | | 社会福祉士 （竹田総合病院） |
| 11 | 医療保険制度 | 医療保険制度の体系・沿革・課題 （保険の種類、保険者、被保険者、費用 負担） | 講義 | |
| 12 | 介護保険制度 | 高齢者の社会的背景 介護保険のしく み・実際の活用 今後の介護保険の課題 演習 | 講義 | |
| 13 | 雇用保険制度 | 制度成立の背景 失業給付の実際と雇用事業の実際 | 講義 | |
| 14 | 地域生活 | 「施設から地域へ」 「住居」 「所 得保障」を中心に事例を通して学ぶ連携 の重要性（医療・保健・福祉） | 講義 | |
| 15 | 社会福祉と社会保障 | 普段の生活との結びつきを考える 介護保険 医療保険 | 講義 | |
| 16 | まとめ | 9～15 | 講義 | |

評価方法 1～8 レポート

9～16 筆記試験 1

テキスト：健康支援と社会保障③ 社会福祉と社会保障 メディカ出版

科目名：看護と法 単位数：1 時間数：15 1年後期

講師：(会津大学上級准教授)

科目設定理由

私たちの生活は法律との関わりなしに成立しない。そのため、法律の基礎的知識を学習する。さらに看護は人の生命に直接関わっているため、その過程で問題が発生した場合に必要な法的知識を学習する。

学習目標

法律の基本的知識を理解した上で、看護に関連した法的知識を身につける。

授業計画

| 回数 | 学習課題 | 学習内容 | 学習形態 | 備考 |
|--------|----------------|--|------|----|
| 1 | 概要説明 | 前説明 | 講義 | |
| 2 | 法とは何か | 憲法の定める基本的人権 どのような場面で法が関係するか／個人（家庭、家族、社会人）、職業法・ルール・倫理、なぜ法が必要か、倫理の必要性 人の一生と法（出生、未成年、成年、（婚姻）、経済活動、経済取引、死） 現代社会における基本的人権 憲法における人権保障の考え方／人権保障の歴史的展開 憲法における人権保障の考え方／人間の尊厳 人権の種類とその内容（精神的自由／経済的自由／社会的自由） 人権の多様化とその実現 | 講義 | |
| 3 | 医療・看護の現場と人権 | 患者の権利（診療・治療を受ける権利、プライバシー権、個人情報、自己決定権）、家族等の権利、高齢者の人権 患者とQOL（Quality of Life）、インフォームド・コンセント、セカンドオピニオン | 講義 | |
| 4 | 先端医療技術とそこでの問題点 | 先端生殖医療技術の普及（人工授精、体外受精、代理出産の法的問題） 移植医療の進展（臓器の移植に関する法律等 人の死の判断） 遺伝子治療（ゲノム解析と治療 個人情報とプライバシーの問題） クローン技術とクローン人間（人の問題 クローン人間は人か） 安楽死と尊厳死（人は自分の死を選べるか 自分以外の者が関与した場合は） | 講義 | |
| 5 6 | 医療関連分野における法律問題 | 法律問題とは何か 契約とは何か、医療契約、在宅医療契約 職務遂行に伴う法的責任（①医療事故に伴う民事責任（債務不履行に基づく法的責任、不法行為に基づく法的責任）、②医療事故に伴う刑事責任、③医療事故に伴う行政責任） | 講義 | |

| | | | | |
|--------|------------|--|----|--|
| | | 医療裁判（裁判制度、裁判の種類、その対応） | | |
| 7 8 | その他の問題とまとめ | 財産管理と成年後見制度 看護・医療現場での法律問題（医療・看護チームにおける共同行動における問題、治療現場での医療補助者としての逸脱問題、介護現場での問題 等） その他 | 講義 | |

評価方法 筆記試験

科目名：総合医療論 単位数 1 時間数：15 3年前期

科目設定理由

看護活動を進めていく上で、医療の動向はもちろん保健・福祉の現状で理解することは重要である。ここでは、保健・医療・福祉の動向、保健医療制度の基礎的知識を身につける。

学習目標

わが国の保健・医療・福祉の動向や医療制度を知り、これからの看護の役割を考える。

授業計画

| 回数 | 学習課題 | 学習内容 | 学習形態 | 講師 | |
|----|-------------------|--------------------|-------------|----------------------|---------------|
| 1 | 医療概論 | 病院と医療 | 講義 | 竹田健康財 団理事長 | |
| 2 | 保健医療論 | 我が国の医療制度 | 講義 | | |
| 3 | 財政環境 | わが国の国家財政状況等 | 講義 | 竹田健康財 団法人事務 局長 | |
| 4 | | これからの日本、医療を取り巻く環境等 | 講義 | | |
| 5 | 日本の社会保障 の成り立ちⅠ | 医療保険制度 1 | 講義 | | |
| 6 | 日本の社会保障 の成り立ちⅡ | 医療保険制度 2 | 講義 | | |
| 7 | 日本の社会保障 の成り立ちⅢ | 公的年金制度の変遷 | 講義 | | |
| 8 | 医療制度各論 | 包括医療費支払制度（DPC）について | 講義 (50分) | | 竹田総合病 院事務員 |

評価方法 レポート